

三重県知事のフランス・ドイツ訪問（10月23日・24日）の概要について

一見知事は、令和6年10月23日（水）、フランスからドイツへ移動し、エボニックインダストリーズ社を訪問しました。24日（木）はJETROデュッセルドルフ事務所と在デュッセルドルフ日本国総領事館を訪問し、現地経済や政治情勢について、ブリーフィングを受けました。

【10月23日（水）】

1 エボニックインダストリーズ社訪問【三重県単独】

(1) 場 所 エボニックインダストリーズ社（エッセン市内）

(2) 参加者

（相手方）

エボニックインダストリーズ社

スマートマテリアルズ部門 部門長 ローレン・ケルセン（Lauren Kjeldsen）氏

シリカ事業部 事業部長 エマニュエル・アウアー（Emmanuel Auer）氏

日本におけるエボニックグループ代表

兼 エボニックジャパン株式会社 代表取締役社長

兼 日本アエロジル株式会社 代表取締役社長 内藤 吾朗 氏

（三重県）一見知事 ほか

(3) 概 要

- ① 一見知事は、県内に立地する日本アエロジル株式会社（※1）（四日市工場）の親会社であるエボニックインダストリーズ社を訪問しました。
- ② 一見知事から、50年以上にわたる四日市工場の事業継続及びアジアでの新事業であるフュームドアルミナ（※2）プラント（現在建設中）への投資に感謝の意を述べました。その後、優れた交通網や様々な業種の企業の集積、補助金等による投資支援、操業環境向上に係る様々な支援等、三重県の優位性について説明し、県内へのさらなる投資に向けた働きかけを行いました。
- ③ ローレン・ケルセン部門長からは、「日頃からの三重県の支援、特にフュームドアルミナプラント建設にあたっての支援について感謝申し上げる。四日市工場は当社シリカ事業部のアジアにおける重要拠点に位置づけている。最先端の製品の開発・製造にあたっては、市場の動向を見極めるとともに、地元自治体との連携が投資決定にあたっての重要なポイントとなる。引き続き、両者の良好な関係を維持し、今後の四日市工場への投資について検討していきたい。」と話がありました。
- ④ 一見知事から、「昨今の情勢より、日本は今後生産拠点の国内回帰が進むと考えられ、投資に適した地域になるものと考えている。ぜひ、投資についてご検討いただきたい。」と返答しました。

(※1) 日本アエロジル株式会社

本社所在地 東京都新宿区西新宿二丁目3番1号 新宿モノリス12F
代表者 代表取締役社長 内藤 吾朗
創立 1966年11月1日
操業開始 1968年4月
資本金 10億円 (エボニックジャパン(株)80%、高純度シリコン(株)20%)
(エボニックジャパン(株)にはエボニックインダストリーズ社が100%出資)
従業員数 134名 (うち四日市勤務123名) 2024年6月1日時点
事業拠点 四日市工場/研究開発センター (四日市市三田町3番地)
事業内容 超微粒子シリカ (商品名:アエロジル) 等の製造販売
※アエロジルは、塗料、医薬品、プリンタートナー、半導体製造工程に用いるCMPスラリー等、多種多様な用途で使用されている。

(※2) フュームドアルミナ

フュームドアルミナは次世代リチウムイオン電池の超薄膜セパレーターコーティングに用いられるもので、バッテリーの安全性、急速充電の性能、エネルギー密度及び耐久性の向上に寄与し、カーボンニュートラル社会の実現への貢献が期待されています。



(意見交換を行う一見知事)



(向かって左から、ローレン・ケルセン 部門長、一見知事、エマニュエル・アウアー 事業部長、内藤 吾朗 社長)

【10月24日（木）】

1 JETRO デュッセルドルフ事務所 訪問【三重県単独】

(1) 場 所 JETRO デュッセルドルフ事務所（デュッセルドルフ市内）

(2) 参加者

（相手方）菅野 一義 所長

（三重県）一見知事 ほか

(3) 概要

菅野所長を訪問し、現地経済事情及び現地企業の動向等について説明を受けるとともに、今後のさらなる経済交流等について意見交換を行いました。



（向かって左から、一見知事、菅野所長）

2 在デュッセルドルフ日本国総領事館 訪問【三重県単独】

(1) 場 所 在デュッセルドルフ日本国総領事館（デュッセルドルフ市内）

(2) 参加者

（相手方）河原 節子 総領事

（三重県）一見知事 ほか

(3) 概要

河原総領事を訪問し、現地政治経済事情の説明を受けるとともに、経済面等に
係る三重県とドイツの関係について意見交換を行いました。



（向かって左から、一見知事、河原総領事）